コタキナバル日本人学校だより

Blue　Sky

～ 夢をもち **情熱をもって 挑戦し続ける 子どもに** ～

第 12 号(令和 5 年 1 月 9 日)
コタキナバル日本人会付属
　コタキナバル日本人学校
TEL　088-422297
URL http://www.sabah.edu.my/kjs/

明けましておめでとうございます

2023年が始まりました。昨年度は保護者の皆様にはたいへんお世話になりました。心から御礼申し上げます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年を日本で過ごされた方、コタキナバルで過ごされた方、または旅先で過ごされた方。それぞれの年越しをされたことと思います。時間は誰に対しても平等です。ですから、誰にも１月１日はやってきます。でも、その過ごし方は千差万別。また、それぞれの人でもその年代によって感じ方が違ってくるのでしょうね。そんなことをつらつら考えながら、今年の過ごし方について元旦を過ごしました。『一年の計は元旦にあり』と言います。私なりに今年のコタキナバル日本人学校について考えてみました。

まず、最初に学びの場として学校について考えました。昨年はたくさんの子どもたちが本校に転入学してきました。校舎内で明るい子どもたちの声が聞こえてくるのは、教師にとってとてもうれしいことです。そんな子どもたちが仲良く過ごしていける学校にしていきたいと考えました。学校教育の目的は「社会の形成者」を育てることにあります。人と人とが共に支え合ってより良い社会を作っていく、そんな人を育てるのが学校教育の目標だと教育基本法の第一条に書いてあります。

ですから、人とのつながりを大切にする子どもの育成は欠かせません。そのためには、いろいろな学校行事や日々の学習の中で共に学び合う環境を整えることが大切だと考えます。修学旅行で私は「人から学ぶ」ということを話しました。人は大切な教育環境です。友達との関係、教師との関係、学校で出会う様々な人との関係。その中でたくさんのことを学んで欲しいと思います。まずは学級の友達との関係を大切にして欲しいと思います。

２つめは教科教育の充実です。私は常々「学校は勉強するところ」と子どもたちに話しています。学校で過ごす時間の大半は教科学習の時間で占められています。ですから、教科教育の充実は最重要課題です。基礎的・基本的事項の定着から発展へと繋げる過程をしっかりと子どもたちに学んで欲しいと思います。そのためには学習習慣を身につけることが大切です。家庭での学習習慣の定着を目指して、宿題にも工夫していきたいと考えます。人の脳細胞は元々「知りたい」という欲求があると脳外科医の林成之氏は言っています。学ぶことは子どもにとって「快」であるはずです。知りたいという欲求が満たされるような授業の工夫が必要となってきます。

本校の教師はみんな若く柔軟な思考ができます。それぞれの教師が授業を工夫しながら学力向上に努めていきます。保護者の皆様もお子さんを通して、学校での教育を見守っていただければと思います。

１月は「行く」、２月は「逃げる」、３月は「去る」と昔から言われています。教師をしていると三学期の短さがつくづく身に染みています。短い三学期ですが、授業充実を目指して本校職員は全力で努めてまいります。３学期も本校教育へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

問題に真剣に取り組む姿。室内に緊張感が漂います。